



夏休み特有の事故を防ごう！

8月は夏休みの子どもたちやレジャー目的でツーリングしている二輪車・自転車と遭遇する機会が増えます。

高速道路では、帰省ドライブの車で渋滞が発生したり路肩に停車する車もあるので注意を怠らないように指導することが重要です。

また、暑さによる疲労から集中力が途切れてうっかりミスをしたり、最悪の場合は居眠運転の危険も懸念されます。

◇子供との事故に注意しよう



■歩行者、自転車の飛び出しに注意

8月は1年中でも子どもの交通事故が多発する時期です。夏休み中の子どもが公園やレジャー施設から飛び出したり、子どもたちの自転車が事故にあいやすいので、生活道路などを走行するときは注意しましょう。

気をつけておきたいのは、路地などからの飛出しです。

夏休みは早朝でも「ラジオ体操」などに向かう子どもが見通しの悪い交差点から走り出してくることがあります。

夜間も、花火大会などの帰りに子どもが歩いたり、自転車の集団に出会うことがあります。「まさかこんな場所に、こんな時間に歩行者・自転車はいないだろう」と思い込まないで、常に危険を予測する意識で運転しましょう。

◇二輪車との事故に注意しよう



8月19日は「バイクの日」です。

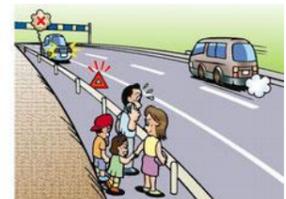
8月は四輪車と二輪車との事故が増加する時期でもあり、この日を中心に安全活動が行われます。

二輪車と四輪車の事故パターンとしては、出会い頭、右折事故、左折事故などが目立ちます(※)。

子どもの事故防止と同様に、見通しの悪い交差点や死角の多い場所で、二輪車の飛び出しなどの危険を予測する姿勢が重要です。

普段は交通が閑散としている場所でも、夏休みは行事などの影響があり、思わぬところから若者のバイクが飛び出してくることがあります。

また、前方から二輪車が近づいているのに気づかないまま安易に右折するときなどに事故が起こりやすいので、「二輪車に注意」と心に念じて安全確認に努めましょう。



◇高速道路における停止車両に注意

高速道路上での事故・故障で、本線車道や路側帯に降車した人が、後続車にはねられるといった事故が依然として多発しています。

8月はレジャーや帰省などで高速道路を走行する車が増えますので、運転者に対して「高速道路でも歩行者のいる可能性がある」

「停止車両の近くにいる乗員に注意する」

などを再度、指導しておきましょう